

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公開番号】特開2009-27677(P2009-27677A)

【公開日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2007-211599(P2007-211599)

【国際特許分類】

H 04 B 1/707 (2006.01)

H 04 W 28/00 (2009.01)

H 04 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 04 J 13/00 D

H 04 B 7/26 1 0 9 M

H 04 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ装置に報知チャネルを送信し、通信を行う基地局装置であって、
複数種類のスクランブルコードのうちのいずれかにて、報知チャネルをスクランブルするスクランブル部と、

前記スクランブル部においてスクランブルさせた報知チャネルをマッピングするマッピング部とを備え、

所定の周期において報知チャネルが複数回送信され、前記複数回送信される報知チャネルの順番と、前記スクランブル部において各報知チャネルをスクランブルさせるためのスクランブルコードとが対応付けられていることを特徴とする基地局装置。

【請求項2】

請求項1に記載の基地局装置において、

前記マッピング部は、スクランブルさせた報知チャネルをシステム帯域幅の中心周波数にマッピングすることを特徴とする基地局装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の基地局装置において、

前記マッピング部は、前記報知チャネルを同期チャネルと同じ中心周波数全域にマッピングすることを特徴とする基地局装置。

【請求項4】

請求項1または2に記載の基地局装置において、

前記マッピング部は、前記報知チャネルを同期チャネルと同じ中心周波数の一部の帯域にマッピングすることを特徴とする基地局装置。

【請求項5】

ユーザ装置に報知チャネルを送信し、通信を行う基地局装置における送信方法であって、

複数種類のスクランブルコードのうちのいずれかにて、報知チャネルをスクランブルす

るステップと、

スクランブルさせた報知チャネルをマッピングするステップとを備え、

所定の周期において報知チャネルが複数回送信され、前記複数回送信される報知チャネルの順番と、前記スクランブル部において各報知チャネルをスクランブルさせるためのスクランブルコードとが対応付けられていることを特徴とする送信方法。

【請求項 6】

ユーザ装置に報知チャネルを送信する基地局装置と、

前記基地局装置からの報知チャネルを受信するユーザ装置とを備え、

前記基地局装置は、

複数種類のスクランブルコードのうちのいずれかにて、報知チャネルをスクランブルするスクランブル部と、

前記スクランブル部においてスクランブルさせた報知チャネルをマッピングするマッピング部とを備え、

所定の周期において報知チャネルが複数回送信され、前記複数回送信される報知チャネルの順番と、前記スクランブル部において各報知チャネルをスクランブルさせるためのスクランブルコードとが対応付けられていることを特徴とする通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】基地局装置、送信方法、及び通信システム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本基地局装置は、

ユーザ装置に報知チャネルを送信し、通信を行う基地局装置であって、

複数種類のスクランブルコードのうちのいずれかにて、報知チャネルをスクランブルするスクランブル部と、

前記スクランブル部においてスクランブルさせた報知チャネルをマッピングするマッピング部とを備え、

所定の周期において報知チャネルが複数回送信され、前記複数回送信される報知チャネルの順番と、前記スクランブル部において各報知チャネルをスクランブルさせるためのスクランブルコードとが対応付けられている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本送信方法は、

ユーザ装置に報知チャネルを送信し、通信を行う基地局装置における送信方法であって、

複数種類のスクランブルコードのうちのいずれかにて、報知チャネルをスクランブルするステップと、

スクランブルさせた報知チャネルをマッピングするステップとを備え、

所定の周期において報知チャネルが複数回送信され、前記複数回送信される報知チャネ

ルの順番と、前記スクランブル部において各報知チャネルをスクランブルさせるためのスクランブルコードとが対応付けられている。

本通信システムは、

ユーザ装置に報知チャネルを送信する基地局装置と、

前記基地局装置からの報知チャネルを受信するユーザ装置とを備え、

前記基地局装置は、

複数種類のスクランブルコードのうちのいずれかにて、報知チャネルをスクランブルするスクランブル部と、

前記スクランブル部においてスクランブルさせた報知チャネルをマッピングするマッピング部とを備え、

所定の周期において報知チャネルが複数回送信され、前記複数回送信される報知チャネルの順番と、前記スクランブル部において各報知チャネルをスクランブルさせるためのスクランブルコードとが対応付けられている。